

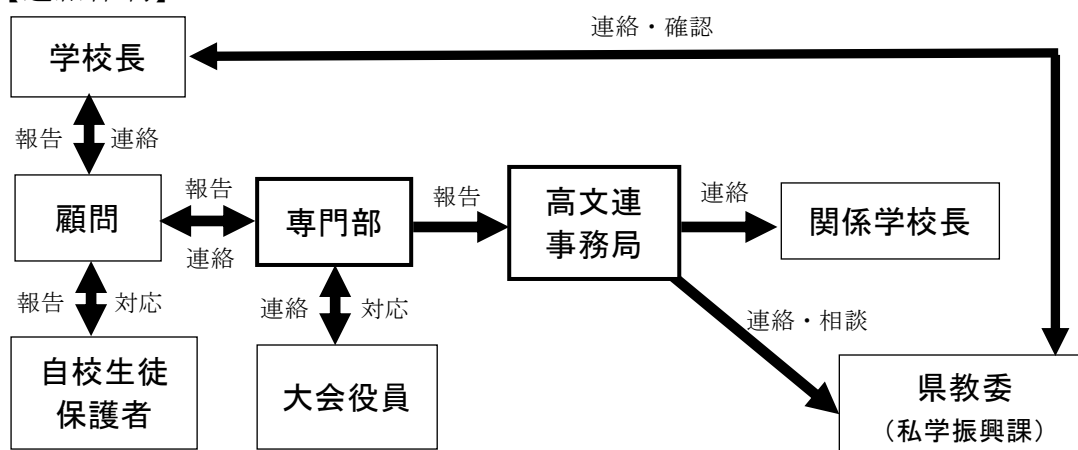
静岡県高等学校文化連盟主催大会の実施について 感染者及び濃厚接触者の対応マニュアル

(別紙 1)

1 感染が確認された場合について (PCR 検査対象となった場合を含む)

- (1) 顧問は、参加申込後から大会終了後 2 週間以内に該当者が出了場合は、必ず専門部へ報告し、専門部は高文連事務局へ報告する。
- (2) 顧問は、保護者を含めた連絡体制を整備し、時間外においても速やかに連絡を行う。
- (3) 専門部は、大会役員等の連絡体制を整備し、大会終了後 2 週間以内に該当者が出了場合は、高文連事務局へ報告する。
- (4) 感染者及び濃厚接触者と同じ大会に参加した関係者への連絡、対応は下記のとおりとする。
 - ア 顧問・指導者・大会参加生徒及び保護者への対応は各学校
 - イ 大会関係者への対応は専門部
 - ウ 高文連事務局は、専門部と協力し連絡調整を行う。

【連絡体制】



2 感染確認後の大会運営について

- (1) 感染が確認された場合は、専門部・事務局で状況を把握し、大会実施について対応を協議する。事務局は、協議結果を関係する学校に連絡する。
- (2) 感染が確認された学校は、学校の全部が臨時休業中の参加は認められない。但し、学校の一部で臨時休業の場合は、状況を把握し対応を協議する。事務局は、協議結果を関係する学校に連絡する。

3 感染及び濃厚接触者の大会参加について

- (1) 感染者は、医師の指示により、他人への感染の恐れがないことを確認し、体調及び体力が十分回復した時点で大会参加を認められる。
- (2) 濃厚接触者は、感染者と最後に接触した日の翌日から 2 週間を経過し、症状が認められない場合は、大会参加を認められる (風邪等で確認のために PCR 検査を受けて陰性の場合は、医師等と相談の上、参加を認められる)。

* 大会後 2 週間は、関係者 (選手、顧問、役員等) の経過観察を行う。
感染が確認された場合は速やかに、専門部もしくは事務局へ報告する。

感染者及び濃厚接触者の対応マニュアル（補足事項）

1 感染者及び濃厚接触者の大会参加について

- ◎ 感染者（A）濃厚接触者（B） → 大会辞退・棄権

- ◎ 学校内で（A）（B）が出た場合
学校の全部が休業の場合 → 全ての部活動で大会辞退・棄権

- 一部が休業の場合 → 活動できている生徒（部員）で大会参加は可能
最終的には学校の判断で参加可否を決定

～新しい生活様式の徹底のお願い～

部活内に（A）が出た場合、保健所の指導により（B）を特定する際、普段の感染対策の有無が大きく関わってきます。活動時や部室内の感染対策を講じていなければ多くの生徒（部員）が（B）と特定され、その後の活動が出来なくなることが予想されます。

したがって、第一には感染しないこと、次に（B）と特定されないように各自が3密の回避や感染対策をして日々の活動を行うこと。家庭内感染も多いことから学校内だけでなく家族を含めた全体で感染防止に努めていくことが大切です。

2 生徒の同居家族が感染等と判明した場合

大会参加中に生徒の同居家族が感染者及び濃厚接触者になったことが判明した場合、生徒は濃厚接触者に特定される可能性が高く、その場合、2週間の自宅待機となります。把握した時点で速やかに保護者が生徒の引き取りに来ていただくこととなります。

なお、遠征等でも同様の対応です。

3 生徒の同居家族に発熱等の症状がある場合

国の地域レベル2以上では（12月9日時点で地域レベル2）、生徒の同居家族に発熱等の症状がある場合、その期間中、生徒は自宅待機となるため、大会への参加は認められません。

同居家族の発熱等が収まり、新型コロナウイルス感染症でないと判明後に自宅待機は解除となり、大会参加も可能となります。

令和2年9月1日から運用
令和2年12月9日から改定